

会報

第2510地区 第11グループ
函館東ロータリークラブ
2023~2024

- 例会場／ホテル函館ロイヤルシーサイド
TEL (0138) 26-8181 (代)
- 例会日／毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所／函館市新川町1-24 R4TM新川町2F
TEL (0138) 23-3870 FAX (0138) 22-2251
- 会長／吉村昭夫 ●副会長／吉川達也
- 会長エレクト／平井喜一
- 幹事／松井明子 ●副幹事／番場優
- 友好クラブ／長崎東ロータリークラブ

継続と変化、そして希望

2023~2024年度 会長 吉村 昭夫



世界に希望を生み出そう

ゴードン R. マッキナリー
国際ロータリー2023-24年度会長

第3156回 5月28日(火)

本日のプログラム

「新会員卓話」

齋藤 聡志 会員／小野 一良 会員

次週のプログラム 6月4日(火)

「困難にどう向き合うか どう支援するか」
見えにくさと盲学校の話

北海道函館盲学校 校長 井上 敬氏

第3155回例会 2024年5月21日(火) 天候 晴

月間テーマ 青少年奉仕月間

■ロータリーソング それでこそロータリー

■司会 吉村 昭夫 会長

■ゲスト

北海道教育大学名誉教授 (文学博士)

函館の歴史的風土を守る会

会長 佐々木 馨氏

■会長報告

1、函館大妻高校より100周年の記念誌が届きました。

2、5月19日、西桔梗のグラウンドへの植樹に多数の参加を頂きありがとうございました。

■幹事報告

1、5月28日(火)第5回クラブアッセンブリーを開催いたします。

「函館文化史を彩る

二つの(土着の論理)」

北海道教育大学名誉教授 (文学博士)
函館の歴史的風土を守る会 会長
佐々木 馨氏



【佐々木 馨 (ささき かおる) 氏 プロフィール】

- 1946年 秋田県横手市に出生
- 1975年 北海道大学大学院文学研究科博士課程日本史学専攻修了
北海道大学文学部助手 (日本史学講座)
- 1977年 北海道教育大学専任講師
- 1979年 北海道教育大学助教授
- 1989年 北海道教育大学教授
- 1997年 北海道教育大学評議員 (2000年まで)
- 1999年 文学博士 (北海道大学)
- 2000年 北海道教育大学附属函館小学校校長 (2004年まで)
- 2005年 青森県史編集専門委員 (中世部会長、現在に至る)
- 2006年 北海道教育大学附属函館図書館長 (2010年まで)
- 2011年 函館市文化財保護審議会副会長 (2013年まで)
- 2012年 北海道教育大学定年退官 (北海道教育大学名誉教授)
北海道教育大学特任教授 (現在に至る)
函館の歴史的風土を守る会会長 (現在に至る)

函館の文化史には、時として、中央政府の命令に反して「土着の優先」を提唱する場面がある。その一つが、慶応4年(1868年)3月28日の世にいう「神仏分離令」の時である。近世幕藩体制の推進した仏教の国教化である「寺請け制度」を否定

し「国家神道」を目指す新政府の政策に対して、湯倉神社の神官中川が、下湯川村明神は江戸時代の承応年間(1652~55)から村民に祀られてきた松前藩主の側室の寄付されたものであり、開拓使の調査の終了後には再び村民に返却してほしいと提訴した。時に明治4年2月14日である。この「土着の論理」を受けた開拓使は、翌年、北海道の「神仏分離政策」を辺境未開を理由に緩和するに至る。湯倉神社の「土着の論理」が開拓使の神仏分離観の転換を導いたのである(拙著「北海道仏教史の研究」)。

二つ目は「七夕文化」に確認される「土着の論理」である。七夕まつりは、松前藩政期に「五節句」の一つとして城下市民にも歓迎されており、それが前期幕府蝦夷直轄期における箱館奉行所の設置前後に箱館にも伝播したと考えられる。日米和親条約締結の翌年の安政2年(1855年)の頃、子供と大人が混じる賑やかな(七夕・ねぶた祭)が、「オオイヤ オオイヤヨ」と囃しながら市中に盛大に繰り出したと平尾魯仙が『松前記行』に伝えている。この七夕祭りが先の「神仏分離令」と同じく、明治政府の「五節句禁止令」により禁止を余儀なくされる。明治6年(1873年)のことである。

この至上命令的に禁止された土着の七夕祭りは、その後どうなっただろうか。御周知のように、函館は開港と箱館戦争を通して国内外に広く知られるようになり、まさに歴史の表舞台に登場する「歴史力」を備える。明治29年に創業した「函館どつく」、同40年に開始した「北洋漁業」、さらに同41年に就航した「青函連絡船」による「経済力」は、寺社と教会に象徴される「文化力」と相まって函館の近代化を協力に押し上げていった。明治初年に始まる「歴史力」とこの「経済力」と「文化力」の三位一体を通して函館の近代化は一気に加速することになる。大正10年に至り、函館の人口は11万人余を数え「東京以北最大の都市」

に成長する。

大正期の函館はついに七夕文化の復活の時を迎える。市中に安政期の「オオイヤ オオイヤヨ」に代わる「追いはイヤヨ」「ろうそく出さねば かつやくぞ」の囃子言葉が響き渡るようになる。「追いはイヤよ」は「七夕文化の禁止」への批判であり、七夕まつりの復活を意味する。この「七夕文化の復活」こそ函館における二つ目の「土着の論理」に他ならない。「ろうそく出さねば かつやくぞ」の囃子言葉が現在の「竹に短冊七夕まつり、大いに祝おう、ろうそく一本頂戴な」に代わるのは、昭和50年代の頃である。

■5月15日、森ロータリークラブの観桜会へ、松井幹事が参加しました。



■5月19日(日)西桔梗グラウンドに15回目となる植樹をしてきました。



■ニコニコボックス

吉村会長、佐藤美子会員、新保会員 佐々木様、本日の卓話宜しくおねがい致します。

■広告料

(有)ビイエフネット 番場優会員

■ニコニコBOX達成率(目標 1,200,000円)

・本日8,000円 総額1,084,000円(達成率 90.33%)
ニコニコBOXで頂いたお金は、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕委員会等の資金となります。ご協力よろしくおねがい致します。

■出席報告

・5月21日(火) 会員36名中 出席17名(欠席19名)



本日の昼食メニュー

中華弁当



市内他クラブ プログラム

5月30日(木)	函館RC	卓	話
5月31日(金)	函館五稜郭RC	卓	話
6月3日(月)	函館亀田RC	卓	話

◆ テレフォンサービス 26-3170 ◆

労働行政事務代行 原事務所

原 隆俊 会員

中島町17-1 電話 53-5555

藤商事(株)

長谷川 浩之 会員

北斗市七重浜7-13-4 電話 49-4031